

# 殺虫剤

協友

## ダントツ®フロアブル

クロチアニジン..... 20.0%

種類名／クロチアニジン水和剤  
 農林水産省登録／第21547号  
 毒性／普通物\*  
 有効年限／5年、4年(6.7ℓ)  
 包装／333mℓ×20、6.7ℓ

### 特 長

- 本剤は、空中散布、無人航空機散布用に開発された製剤です。
- 空中散布は微量散布、少量散布のいずれにも使用できます。
- 有効成分のクロチアニジンは浸透移行性、残効性に優れ、安全性においても航空防除に適した成分です。
- 稲の斑点米カメムシ類に対して優れた防除効果があり、ウンカ類・ツマグロヨコバイにも高い効果があります。

### 適用害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲	イナゴ類 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類 イネドロオイムシ	5000倍	60～150ℓ	収穫7日前 まで	本剤 3回 クロチアニジン剤 4回 [直播での種時又は 移植時までの処理は 1回、本田での散布、 空中散布、無人航空 機散布は合計3回]	散布
	ウンカ類 カメムシ類	1250倍	25ℓ			空中散布
	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	90倍	3ℓ			無人航空機 散布
	ウンカ類 カメムシ類	24倍	800mℓ			
湛水直播水稻	イネミズゾウムシ キリウジガガンボ	原液	種もみ3kg当り 75mℓ	は種前	本剤 1回 クロチアニジン剤 4回 [は種時までの処理は 1回、本田での散布、 空中散布、無人航空 機散布は合計3回]	塗沫処理
だ い ず	アブラムシ類 カメムシ類 フタスジヒメハムシ	2500～ 5000倍	100～300ℓ	収穫7日前 まで	本剤 3回 クロチアニジン剤 4回 [は種時の土壌混和は 1回、散布は3回]	散布
	マメシクイガ ダイズクキタマバエ	2500倍				無人航空機 散布
	アブラムシ類 カメムシ類	24倍	800mℓ			
ばれいしょ	アブラムシ類	5000倍	100～300ℓ		本剤 3回 クロチアニジン剤 4回 [植付時の土壌混和は 1回、植付後は3回]	散布

(つづく)

作物名	通用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
さとうきび	サトウキビチビアザミウム カンジャコバネガガカメシ イナゴ類 カンジャウタアブラムシ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫30日前 まで	本剤 3回 クロチアニジン剤 7回 「植付時までの処理は 1回、植付後の粒剤 の処理は3回、水和 剤の処理は3回」	散布
	メイチュウ類	2500倍				
	カンジャコバネガガカメシ メイチュウ類	24倍	2.4 ℓ			無人航空機 散布

## 使用にあたって

### ■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は長期間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出してください。
- 稲に1250倍希釈で使用する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 塗沫処理で使用する場合には、薬剤処理後のもみに過酸化カルシウム剤を湿粉衣してください。過酸化カルシウム剤の使用上の注意事項を守ってください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ① ミツバチの巣箱およびその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
  - ② 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意してください。
- 空中散布および無人航空機による散布に使用する場合、散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 空中散布・無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

### ■毒



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

### ■水産動植物への注意

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

### ■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。

### ■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。